

様式1 令和5年度 山梨県立甲府工業高等学校(定)評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	時代を主体的・創造的に生き、知徳体をそなえ、地域の希望となり未来となり光となって、山梨や日本を支え、世界に羽ばたくエンジニアを育成する。
-----------	--

山梨県立甲府工業高等学校 校長 菊島圭一

本年度の重点目標	1 社会が必要とする人間力を育成する。
	2 基礎的・基本的な学力の定着を図る。
	3 健全な心身を育成する。
	4 新しい時代に対応した教育活動を推進する。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価							
番号	評価項目	本年度の重点目標	具体的方策	年度末評価(1月12日現在)			
				方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	1 社会が必要とする人間力を育成する。	基本的な生活習慣を確立させる。(挨拶の徹底)	アンケート 登校指導 生徒会による挨拶運動	アンケート 登校指導 生徒会による挨拶運動	・生徒会による挨拶運動や教員による登校指導を行った。登校時間は各生徒が各々決まった時間に登校しているが、挨拶ができない生徒が若干いる。 ・登校時の挨拶、授業開始終了時の礼、職員室での入退出時、届け出書類の提出時の挨拶、言葉遣いの指導を行った。 ・生徒会行事に関する生徒の満足度は8割と高く、主体的に取り組んでいる。行事の運営の中心は生徒会役員である。	B	成果 ・登校時など自分で挨拶ができるようになった。 ・学校行事を生徒が生徒主体で進めることができた。 課題・改善策 ・学校外での生活に関し家庭への協力を依頼するなど、規則正しい生活の確立に取り組んでいくことが必要である。
2	2 基礎的・基本的な学力の定着を図る。	基礎・基本を重視して「わかる授業」を実践する。	授業アンケート 相互授業参観	・授業を受けて知識・技能が身に付いたと感じている生徒は9割弱であり、個に応じた指導で個々の理解を引き出している。 ・年次、科において必要な生徒に対して、授業前の登校を促し、課外指導、補習指導を行った。 ・授業においてDVDの視聴や図や写真の提示、説明を行うことにパワーポイントを使うなどICT機器の活用をし、生徒の興味・関心を引き出すことができた。	B	成果 ・生徒は授業には興味・関心を持って取り組むことができています。 ・教員はICTを積極的に活用できている。 課題・改善策 ・家庭学習時間が短く、知識が定着しない。 ・中学校の学習内容、既習内容を折に触れて復習を行う必要がある。 ・個人端末の活用学習会を開き、使用する場面を増やしていく。	
		基本的な計算や漢字の読み書き能力を身に付けるために課外指導・補習指導を行う。	補習・課外等の実施回数 小テスト				
		ICTの活用などにより、生徒の学習への興味・関心を高めるよう、授業内容を工夫する。	授業アンケート 相互授業参観				
3	3 健全な心身を育成する。	部活動・委員会活動など仲間と円滑にコミュニケーションを取り、同じ目標に向かって進めるよう導く。	アンケート	・部活動での指導、学校行事への取り組みについて、75～80%の生徒が肯定的に感じている。 ・今年度はがん教育を実施することができた。給食は全員が食べる環境にあるが、40～50%の生徒が摂るに過ぎない。 ・避難訓練2回と自転車に関する交通安全教室を行い、避難時の経路や報告、自転車の安全運転について確認できた。	B	成果 ・レクリエーションなど縦割りで学年間の交流を深めることができた。 ・がん教育など健康に対する理解を深めることができた。 課題・解決策 ・バランスの良い食事の重要性など生徒に伝えていく必要がある。 ・避難訓練は実践的な訓練となるよう、予告なしで行うなど工夫する。	
		健康教室や健康セミナー、喫食調査などを通して、健康・体調・時間管理を指導する。	行事アンケート 喫食調査				
		防災避難訓練や交通安全教室など教育活動全体を通じて、自他の生命を尊重する心を育む。	行事アンケート				
4	4 新しい時代に対応した教育活動を推進する。	1年次から「進路意識」の啓発を行う。	アンケート 学科希望調査	・進路セミナーが進路選択の参考になったと回答した割合は98%であった。 ・進路選択に関しキャリアノートが役立っていると感じている生徒が63%と低い状況にある。 ・各科目において外部講師を招聘してのキャリア教育を実施することで、実践と資格取得についても必要性を深めることができた。 ・就職希望者に夏休み中の登校日など活用し、必要書類の作成を先行して指導することができた。面接練習を計画的に行い、内定に結びつけることができた。	B	成果 ・進路セミナーは生徒の進路選択の参考になった。 ・外部講師の指導によるキャリア教育は授業と実践を結びつける取り組みとなっている。 ・就職希望者については、100%第1希望で就職先を決定できた。 課題・解決策 ・キャリアノートは生徒が役立っていると思える活用方法を考える。 ・進学希望者については基礎学力の定着が課題である。 ・資格を取得することの意義と資格試験のスケジュールを理解させ余裕を持って試験に臨ませる必要がある。	
		キャリア教育の充実を図り、進路意識を高める。	アンケート キャリア教育の実施状況				
		就職希望者に対する指導を充実させる。	アンケート 指導の実施回数				
		HRや授業を通じて、資格に関する情報を提供し、資格取得に導く。	各科目による資格取得状況				
		社会人による講話や実技指導を実施し、資格取得に対する意識を高める。	講話や実技指導の実施状況				

学校関係者評価	
実施日(令和6年2月1日)	
評価	意見・要望等
4	・色々な家庭環境の生徒への対応ができていて良いと思います。 ・学校行事を生徒主体で行えていることは素晴らしいことだと思います。 ・挨拶、マナーの徹底は評価いたします。 ・基本的な生活習慣を身につけるには、やはり常時の登校と挨拶からだと思っている。ほぼ達成されているようで評価できる。
3	・基礎基本が一番大事です。今の子供達は基礎を飛び越えて実践してしまいがちですが、甲府工業の生徒達は基礎基本ができていますので社会に出てから戦力になります。定時の生徒もくり返し基礎基本を身につけてほしいと思います。 ・基礎的・基本的な学力の定着のためにいろいろ努力されていることがわかります。 ・ICT機器を利用した授業は、効果があります。生徒自身にやらせるのも良いと思います。 ・基礎学力のチェックと身につけさせる効率的手法を考え実行、継続してほしい。
3	・定時制で規制が多い中でも良く部活動などできていると思います。 ・学年を超えた交流を深めることは「社会が必要とする人間力」にも効果がある取り組みだと思います。より多くの機会があればよいと思います。 ・定時制の生徒はやる気のある生徒だと思います。 ・せっかくの給食を摂らないのはもったいないです。 ・やはり規則正しい生活と食事が重要。又、定時制生徒には不足しがちな運動等の取り組みに尽力されたい。
3	・基礎は本当に大切ですが、学校教育が時代に対応するのが遅い気がします。才能あふれる生徒達を大切に育ててください。 ・卒業後のみならず、長期の視点にたったキャリア教育を期待します。 ・資格取得を進めて下さい。 ・いつの時代にあっても基礎学力は必ず求められる。専門的学習も重要であるが、粘り強い取り組みを期待したい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。